

ORIC NEWS

翔飛

ひしよ

入居企業紹介 株式会社ローゼック



販売管理

食品工場向け
生産販売統合システム

生産管理

Craft Line
クラフトライン

原価計算

生産管理、在庫管理、販売管理の決定版

在庫管理



【会社概要】

『組立加工製造業での生産管理システムの開発、導入、運用経験は25年以上』

『食品製造業向け生産管理、レシピ管理システム等の提案、開発、導入経験は30社以上』

の実績を持ち、製造業の生産管理システムに特化し、生産管理システムの開発に取り組んできました。その経験とノウハウを生かし、「食品製造業の業務改善メソッドを開発し、業務改革の発展に寄与する。」ことを新たに経営理念・経営方針に掲げ、「食品製造業」の情報化推進を強力にサポートしております。

そのような当社の強みは、

- 1:多くの現場経験を生かし、実作業への影響が少ない提案ができること
 - 2:現場の気持ちを受け止め、納得感のある導入ができること
 - 3:多くの導入経験を元に失敗を未然に回避し、より高い成果を実現すること
- であると自負しております。

お客様から言われた通りにプログラムを書くソフト会社とは一味違っていると自負しております。



(株) ローゼック HP

— 本号の主な内容 及び ORIC 連絡先 —

入居企業紹介 (株式会社ローゼック 株式会社シー・スリー)
我が社のいっぴん (満栄工業株式会社)

No.70 (2020.10)

飛翔発行元：岡山リサーチパークインキュベーションセンター
〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀 5303
TEL：086-286-9116 E-mail：info@oric.ne.jp

ORIC
OKAYAMA
RESEARCHPARK
INCUBATION
CENTER



ORIC HP

【設立経緯】

現在の代表者である早川雅人は、世界 No.1 を誇った日本の製造業の低下を憂慮し、中小企業向けの生産管理ソフトウェアを開発し、日本の国際競争力向上に貢献することを一念発起し、2010年4月株式会社ローゼックを設立しました。設立以来、食品製造業を中心に生産管理システムの開発と普及に努め、現在では30社を超える導入企業を数えるに至りました。

【食品製造業向け販売生産統合システム】

「クラフトライン」とは

生産管理から、販売管理、在庫管理、受発注管理、原価計算、トレーサビリティシステム、スマートフォン・タブレット入力まで網羅しており、会計と人事給与を除いたほとんど全ての業務を横断的、統合的にマネジメントできます。ERPほど大掛かりではない分、導入コストが抑えられ高い費用対効果が見込めます。

また、導入企業様が増えるたびにバージョンアップしていくことも大きな特長です。保守契約を結んでいただいた企業様は、従来の操作感を維持したまま無償で新機能が入手でき、時代の変化とともにシステムが進化してゆくことになります。

加えて従来の生産管理システムは、見積を取ると多額のカスタマイズ費用が載っていることが多いです。ホームページ等では「ノンカスタマイズが可能」とうたわれていても、打合せを重ねるたびにカスタマイズ項目が増えていき、最終的には当初想定の2倍、3倍まで金額が膨らんだ、なんて珍しくありません。「クラフトライン」は、完全 Web 対応でクラウドサービスを使った運用が可能です。

また、「ワンソースコード」でのパッケージプログラムでの提供を行っております。

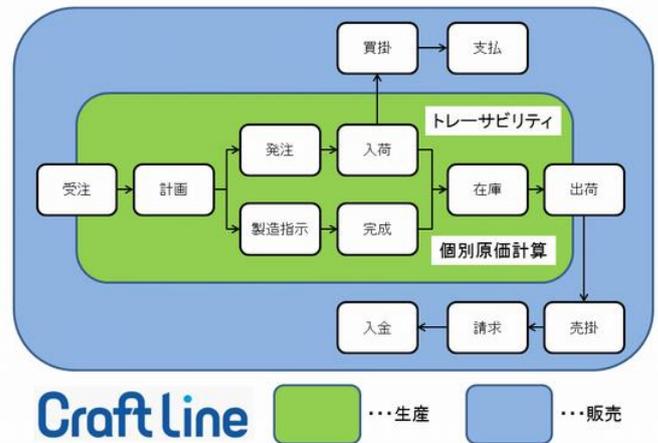
「クラフトライン」は、当社スタッフの長年の経験を元にした多数の機能が盛り込まれているだけでなく、全ての画面をユーザが自由に変更できるのが特長です。機能の追加や削除などのカスタマイズは、他社パッケージに比べて少なくすることが可能で、

導入期間も短くできる工夫もされています。カスタマイズを極力減らすことによって、より安価でスピーディな導入が可能なシステムとなっております。

生産販売統合システム クラフトライン



クラフトラインの概要



システム概要図

【今後の展望】

コロナショックにおける内外の情勢変化に伴い、主要な顧客である食品製造業各社も大きく業績が下振れする可能性があります。そのような状況下で各社が、中長期的に勝ち残ってゆくためには、従来の業務プロセスの在り方から脱却し、大胆な発想で一層の業務改革を推進する必要があります。

クラフトラインが主要顧客の業務改革・業務効率化を行う業界最強のツールであり、メソッドとなることを希求し、社会貢献を目指してゆきます。



2010年4月設立 代表者：早川 雅人 資本金：1,000万円
 事業内容：コンピュータソフトウェア及びハードウェアの開発・販売・保守・教育・輸入及び企業経営に関するコンサルティング業務
 HP：http://www.rozec.co.jp/

入居企業紹介 株式会社シー・スリー

【会社概要】

株式会社シー・スリーは2019年6月に創業し、多くのユーザー様にご支援を頂き、開発案件も増え、コロナショックにも負けずに頑張っています。業務内容は、プリント基板製作時のプロデュースとアートワーク設計及び基板製作（部品実装含む）を行っています。主に、一般産業機器向けの基板を製作しています。弊社の強みは、アートワーク設計技術を活かした高密度化・小型化及びコストダウンを実現する技術です。レーザーセンサーや5G通信関連の高周波基板製作に特化しています。また、長年の基板製作の経験と知識を活かし、スピーディな対応と提案力を信条としています。

【会社コンセプト】

Creation（創造）

Challenge（挑戦）

Collaboration（協調）

今後需要が伸びるであろう、商品開発及び製作に特化する。新しい技術及び加工の難しいものや短納期に挑戦する。協力企業と共にモノづくりを行っていく。

【主要製作テーマ】

①自動車関連 ADAS（先進運転支援システム）レーザーセンサー向け基板の製作。

今後は、28GHz/39GHzなどの「ミリ波」領域の商用化が焦点となると捉えています。ミリ波の導入はハードウェアの観点からは、アンテナ等の高度化やミリ波モジュールの追加搭載等プラス要素が見込まれます。

次世代高速通信システムには高周波特性や信号の超低遅延などの電気特性の工場が必須となったため、従来のガラスエポキシ FR-4 ベースの樹脂材料からフッ素樹脂をはじめ、LCP や MPI の材料開発や製品化が加速しています。



レーダー探査



②通信関連：5G 通信機器関連・カメラモジュール向け基板の製作

日本でも5Gの本格運用サービスがスタートするため、スマートフォンでも5G対応機種が今年には世界的に普及すると思われる。飽和状態で伸び悩んでいたスマートフォン市場に大型のカンフル剤が打ち込まれることになり、順調にいけば久々の盛り上がりを見せてくると考えています。

モバイルカメラにおいて小型・高機能化で業界をリード



③プラズマ技術関連：プラズマ電源向け基板の製作

半導体産業で活用されてきたプラズマ技術は大気圧プラズマの進展により、自動車産業や医療／バイオ分野へと応用が急拡大しています。

低温大気圧プラズマや液中プラズマの開発により、材料表面の改質や医療現場での活用が活発化しています。

【高周波電源技術用途】



【当社の今後の展望】

当社は ORIC にて創業後の経営基盤を確立しつつ、若い人材を育成し、数年後には岡山市内に開発・営業拠点を構築し、少数精鋭体制で「岡山の地より新技術を全国に向けて」発信していきます。



株式会社シー・スリー

2019年6月設立 代表者：鈴木 盛義 資本金：100万円

事業内容：一般産業機器向け基板設計・製造・販売

E-mail：nishikawa@shi-three.jp TEL：086-239-9010

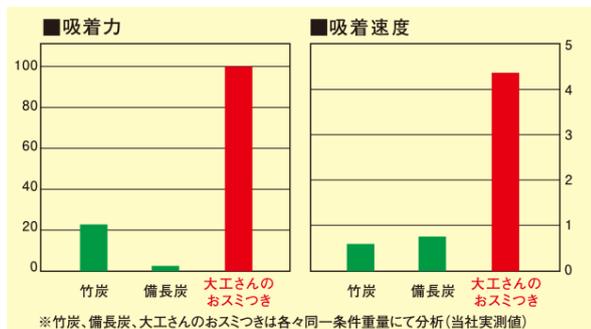
満栄工業株式会社

・ヤシ殻活性炭とは

ヤシ殻活性炭は、木炭の最高級品とされる「備長炭」の100倍以上の吸気吸着機能があります。特にヤシの殻から作られる活性炭は、マイクロ単位の微細な孔が高密度で分布しています。数ある活性炭の中でも特に吸気吸着能力が高く、自分の大きさの約1000倍もの表面積で湿気や臭気と吸着します。古来から生活の知恵として活用されてきた「炭」が現代の技術と結実しさらに高い効果を発揮できるものとなりました。

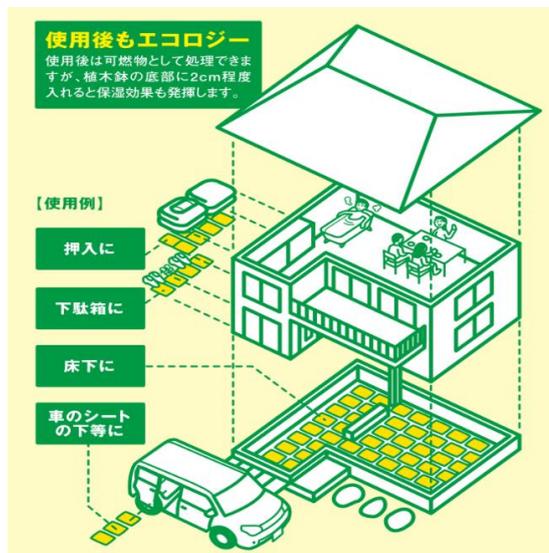
・「大工さんのおスミつき」について

高い吸気吸着能力を持つヤシ殻活性炭の性能を活かし、弊社で販売する「大工さんのおスミつき」は、床下や押し入れ、車のシート下などに置くことによって、湿気やカビ、臭いの抑制に効果を発揮します。その吸着力は、竹炭の約5倍、備長炭の約100倍(当社実測値)あり、吸着速度も竹炭や備長炭に比べ早いのが特徴です。



また、姉妹品である「100倍くん」は、小さめのサイズとなっており、下駄箱や冷蔵庫に置くのに適したサイズになっています。

昨今問題となっておりますシックハウスの対策にも実績があり、シックハウス症候群の原因とされる化学物質を吸着し、ご家族の健康を守ることに貢献しています。



「100倍くん」活用イメージ

・満栄工業について

満栄工業株式会社は岡山県吉備中央町にある活性炭製造加工の専門企業です。弊社は1921年に創業しました。創業時は松根油の製造からスタートし、主にガソリンの代わりとして燃料や、絵の具や塗料の原料として使われていました。松根油の需要も次第に減少していたという背景もあり、終戦後に、松根油の副生物として、炭が残りますので、こうした乾留(むしやき)の製造ノウハウを活かして活性炭の製造を開始しました。

空気や水の汚染物質、悪臭などを取り除き浄化する力が活性炭にはあります。ダイオキシン除去などの公害対策をはじめ、浄水器、空気清浄機クリーニングまた使い捨てカイロなどにも活用されています。身近なものから地球規模の自然環境まで、リサイクル可能な活性炭は今や、なくてはならない存在に成長しています。

何かお困りのことがあれば、お気軽にご相談宜しくお願いいたします。

